学校番号	T0301

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)総合数学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新 高校の数学Ⅰ」（数研出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１・２年生までの学習していない、平面図計、整数の性質、データの分析、分数式、複素数について学習します。また、社会生活において数学が活用されている場面や身近な事象を数に考察する技能を身につけます。
・わからないことはすぐに授業担当者に質問をしても構いません。わからないことをそのままにしておくことはやめましょう。
・授業に出席することが基本です。欠席が多いと授業内容を理解することが難しくなります。
・定期テストは授業内容を中心に出題されます。
・プリントを中心に学習しますが、教科書を使うときもあるので、教科書は忘れずに持ってきて下さい。

2　学習の到達目標

平面図計、整数の性質、データの分析、分数式、複素数についての基礎的な知識や技能を習得します。
また、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにします。
さらに、それらを活用する態度を身に付けることを目標とします。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	平面図計、整数の性質、データの分析、分数式、複素数において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、平面図計、整数の性質、データの分析における数学的な見方や考え方を身に付けている。	平面図計、整数の性質、データの分析、分数式、複素数の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	平面図形	図形の基本 角の二等分線と線分の比 三角形の外心内心重心 円周角の定理 円に内接する四角形 円の接線 方べきの定理	a: 学習した図形の特徴を理解し，それを利用して，社会に存在するものにおきかえた技能を身に着けている。 b: :いろいろな図形の特徴を考察することができる。円と線分との関を考察することができる。方べきの定理のいろいろなパターンを理解している。 c: 学習した図形の特徴を解し，それを利用して，社会に存在するものにおきかえた技能を身に着けている。	定期考査	定期考査 考察プリント	提出プリント 振り返り
	整数について	素数と合成数 約数と倍数	a:素数・合成数・約分・倍数を使用しかたを踏まえ理解している。 b: 整数に興味をもつ。その性質を調べようとする。 c: 学習した整数の特徴を理解し，それを利用して，社会に存在するものにおきかえた技能を身に着けている。	定期考査	定期考査 考察ﾌﾟﾘﾝﾄ	提出プリント 振り返り

後期	データの分析	データの整理 データの代表値 データに散らばり データの相関と散布図	a: データの整理、データの代表値、データに散らばり、データの相関と散布図を理解している。 b: データの学習によっていろいろなデータの処理ができる技能を身に着けている c: データの学習によって社会に存在することを分析する見方や考え方が身についている	定期考査	定期考査 考察プリント	提出プリント 振り返り
	複素数・分数式・整式	複素数 複素数の利用 分数式の計算 整式の除法	a 実数と複素数の違い関心がある。１年生で学習した整式に関心がある。 b: 実数の世界から複素数の世界に広がったことを考えることができる。 c: 複素数の計算、分数式の計算、整式の除法ができる。	定期考査	定期考査 考察プリント	提出プリント 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度